

仕事を楽しむための
WEBマガジン
ビープラス
B+ B-plus
に掲載中!

株式会社 KYOSHIN

山田享樹 × 畑山隆則

畑山 KYOSHINさんの従業員の平均年齢は約25歳。山田社長も23歳と、お若いですね。

山田 はい。私は15歳からこの仕事をしていますので、業界歴は長いんですよ。独立後、20歳で法人化をしたことで有能な人材が必要になり、兄を専務として招き、その後、知人を部長として招いたんです。二人とも業界経験は長く頼りになります。現在は関東、関西、北陸の各現場で、下請けさんも併せて40〜50人の職人が弊社の仕事に携わっています。

畑山 詳しい事業内容について教えてください。

山田 足場工事とデッキプレート工事、そして鍛冶工事の3本柱で事業を展開しています。足場工事は、組み立ての「スピード」と「徹底した安全管理」を満たす必要があります。建築作業の工程において、各職人が腰を据えて作業を行うための本拠地

として、足場は確実な安全を確保しておかなければなりません。ですから土地や建物の形状に応じた足場を施工いたします。

畑山 デッキプレート工事はどういったものでしょうか？

山田 立体駐車場や工場など、重量への耐性が求められる建物の床に、デッキプレートという材料を施工する作業です。合成デッキ、フェローデッキ、フラットデッキ、コン止めなど、さまざまな床の構造に対応できるため、各地で受注が増えていますよ。

畑山 鍛冶・溶接工事についても教えてください。

山田 管同士や管と配管部材を一体化させる接続方法のことで、あらゆる金属をつなぐために、正確な技術と経験が必要となる作業です。配管の溶接を初め、設備部分に関わる溶接など、各種工事に対応しています。

溶接方法は、TIG溶接・アーク溶接・半自動溶接などあらゆる現場に対応可能ですよ。

畑山 とび職に興味を持っている若者に、この仕事の魅力を伝えるとしたら何ですか？

山田 ものづくりの達成感を得られるところですね。弊社には私の年齢に近い職人が多く、お互いに「こいつには負けたくない」という、切磋琢磨する雰囲気は自然にできています。これが大きなモチベーションになっていると感じますね。

畑山 今後、新たな仲間を迎え入れるとしたら、どんな人材がいいですか？

山田 経験の有無にかかわらずやる気のある方がいいですね！ 関東進出も視野に入れ、みんなで一緒に頑張っていきたいです！



代表取締役 山田享樹

15歳から足場工事のとび職人としての技能を磨いた。18歳で個人事業主として独立。20歳のときに法人化を果たし、(株)KYOSHINを設立した。2018年には兄を専務として、2019年には知人も部長として招き組織力を強化。県外にも活躍の場を広げている。

足場業界を牽引する 若きとび職人たち



〒914-0824
福井県敦賀市原23-6-1-2
【事業内容】
足場工事／デッキプレート工事／鍛冶各種溶接工事
【TEL】0770-47-6690
【受付時間】
平日 10:00 ~ 17:00
【ホームページ】
<http://kyoshin-corp.co.jp/wp>



元ボクシング世界王者 畑山隆則

1993年プロデビュー。WBA世界スーパーフェザー級・ライト級で王座を獲得。日本人4人目となる世界2階級制覇を果たす。引退後はタレントやボクシング解説者として活躍。元世界ミドル級王者の竹原慎二氏とボクサー・フィットネス・ジムを運営する実業家でもある。

詳しくは、ビープラス
「経営者インタビュー」にて



仕事を楽しむ 山田享樹

検索